

# 競技注意事項

本大会は、2013年(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

## 1. 招集について

- (1) 競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら招集所にて、自分のナンバーカードを競技者係に示し、出場する種目、組、レーン(試技順)を告げ、スパイクシューズの確認を受ける。  
四種競技も、すべての種目で招集所において競技者係から同様の点呼を受ける。
- (2) 競技者係、混成競技者係の位置は、本競技場第2ゲート(ゴール付近)側の外側に設ける。
- (3) 招集はすべて競技者係、混成競技者係の指示に従う。招集開始時刻・終了時刻は次の通りとする。

		予選・準決勝・決勝
トラック競技	競技開始時刻	25分前～15分前
フィールド競技(走幅跳)	競技開始時刻	40分前～30分前
(走高跳・砲丸投)	競技開始時刻	40分前～30分前
(棒高跳)	競技開始時刻	80分前～70分前

四種競技も同様にトラック種目は25分前～15分前、フィールド種目は40分前～30分前とする。

- (4) 招集に遅れた者の出場は認めない。
- (5) 招集完了後、勝手に招集場所を離れてはならない。移動は、競技者係、混成競技者係の指示に従う。
- (6) 2つの競技に出場する競技者は、招集の際に競技者係、混成競技者係に連絡し、係の指示に従って行動する。
- (7) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。  
なお、準決勝のオーダー用紙は、1日目の17:00までにトラック総務へ提出すること。やむを得ない事情で変更が生じた場合は2日目の準決勝招集終了時刻の1時間前までに競技者係に申し出ること。
- (8) ナンバーカードは、ユニフォームの胸、背に交付された大きさのまま縫いつけるか安全ピンで確実に止めること。(跳躍競技に出場する競技者は腹部または背部のいずれか一方でよい)
- (9) トラック競技の出場者は招集の際、競技者係より腰ナンバーカードを借り受け、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。(フィニッシュ後は、必ず回収員係の補助員に手渡すこと)

## 2. レーン・試技順

- (1) プログラムの記載の上から下への番号順とする。ただし、四種競技は、種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝のレーン順及びフィールド競技の決勝の試技順は番組編成員で公平に抽選し、選手招集場所に掲示する。

## 3. トラック競技

- (1) タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、競技規則第167条②を適用する。
- (2) 写真判定のため、腰ナンバーカードを使用するがリレーの場合は第4走者のみとする。
- (3) 男女1500m、男子3000mはタイムレースで行う。番組編成は申込時の持ちタイムにより行う。
- (4) 3000mはレーンナンバーカードを使用し、タイムレースで行い、グループスタートで行う。

## 4. フィールド競技

- (1) 走高跳・棒高跳
  - ① 男子走高跳は決勝のみ、女子走高跳は予選、決勝とし、バーの上げ方は次の通りとする。  
男子 決勝 練習 1m40 試技開始 1m45～1m60 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。  
女子 予選 練習 1m20 試技開始 1m25～1m40 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。  
※予選通過記録 1m43  
決勝 練習 1m35 試技開始 1m40～1m45 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。
  - ② 棒高跳は決勝のみとし、バーの上げ方は次の通りとする。(最後の一人になるまでは、下記の通り)  
練習 2m30 試技開始 2m40→2m60→2m80 以降 10cm 上がりとする。
  - ③ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm・棒高跳は5cm単位とする。
  - ④ バーの上げ方について天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

## (2) 走幅跳

① 予選通過記録は下記の通りとする。

男子 5 m 8 0 c m      女子 4 m 9 0 c m

② 予選通過者が 12 名に満たない場合は、予選成績により追加補充をする。同成績の競技者は第 180 条⑨を適用しない。

## (3) 砲丸投

① 予選通過記録は下記の通りとする。

男子 9 m 7 0      女子 9 m 7 0

## (4) 混成競技

四種競技の走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子 練習 1 m 15 試技開始 1 m 20～1 m 60 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

女子 練習 1 m 05 試技開始 1 m 10～1 m 40 まで 5cm 以降 3cm 上がりとする。

天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

## 5. 競技について

- (1) 競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはできない。
- (2) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。
- (3) リレー競技のマーカーの使用は 1 ヶ所とする。使用したマーカーは、そのチームで処理すること。
- (4) リレーチームの編成メンバーについては、競技規則第 170 条⑩を適用する。
- (5) 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を練習の時に担当審判員に申し出ること。
- (6) 四種競技の最終種目における組み合わせは、それまでの得点の多い競技者でひとつの組を作り行う。
- (7) 抗議については、競技規則 146 条に従って各地区専門委員長(またはその代理の者)を通じて行う。

## 6. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外、全て主催者側が準備したものを使用しなければならない。
- (2) 個人使用のポールは、検定を受けて合格したもののみ使用できる。ポールの検定は棒高跳ピットで跳躍審判員が行う。

## 7. 競技用スパイクについて

- (1) スパイクのピンは全天候用を使用し、長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳は 12 mm 以下とし、ピンの数は 11 本以内とする。

## 8. テントの設営場所について

テントを張る場合は次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

- ・大会前日の設置、及び場所取りは認めない。大会当日の開門(7時00分)より認める。
- ・大会中テントを設置したまま置いていくことは可とするが、必ずたたんでいくこと。強風などにより撤去をお願いすることもあるので、アナウンスの指示に従うこと。
- ・メインスタンド及びメインスタンド横の芝は禁止する。
- ・各地区中体連での場所の割当てはしない。

## 9. その他

- (1) 8 位までの入賞者に賞状を授与する。※ただし、女子 3000m の 3 年生については除く。
- (2) 本大会の記録から男女各 1 名の優秀選手を選出し表彰する。
- (3) 表彰は各種目の決勝終了後ただちに行うので、入賞者は担当役員の指示に従い表彰席に待機する。
- (4) スタート前に脱いだ衣類については、あらかじめ用意された袋に入れ、各校(監督・引率者)の責任において、競技者に手渡すこと。
- (5) 正面スタンド前(本部席前)は通行禁止とする。
- (6) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないように注意すること。
- (7) 競技者としての自覚を持ち、見苦しい服装や態度をとらないこと。なお、競技者の服装は、大会規則に定める範囲とする。ランパンとスパッツの重ね履きは禁止する。
- (8) 棄権届(用紙は競技者係に備えてある)は、競技開始 90 分前までに競技者係へ提出すること。
- (9) リレー競技については、上下ともその学校の同一ユニフォームを着用すること。
- (10) 携帯電話、その他類似の機器を競技場内で所持及び使用することを禁止する。
- (11) 女子 3 0 0 0 m は東日本女子駅伝の選考レースを兼ねる。